

令和7年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	音楽Ⅲ(選択)			学年・コース	高校3年・進学(文系)
教科	芸術科	単位数	2単位		
使用教科書	Joy of Music (教育芸術社)				
副教材等	改定新版高校生のソルフェージュ(音楽之友社), MY SONG(教育芸術社), 高校生のための音楽研究ノート(教育芸術社)				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成する。

- 1 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽文化の多様性について理解するとともに、創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。
- 2 音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫したり音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりすることができるようにする。
- 3 主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、音楽文化を尊重し、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	独唱 発声の工夫と表現 器楽 ピアノ 鑑賞 中世・ルネサンス	発声・表現を観察・聴取 練習状況を観察・聴取 鑑賞の様子や発表等観察	10月	楽譜の読み方・書き方 ア・カペラの楽しみ 独唱 鑑賞 ミュージカル	課題の取り組み状況を観察 発声・表現を観察・聴取 賞の様子や発表等観察
5月	独唱 発声の工夫と表現 楽譜の読み方・書き方 創作による表現	発声・表現を観察・聴取 課題の取り組み状況を観察 創作作品を観察	11月	楽譜の読み方・書き方 独唱 器楽 ピアノ	課題の取り組み状況を観察 発声・表現を観察・聴取 練習状況を観察・聴取
6月	鑑賞 バロック・古典派 楽譜の読み方・書き方 合唱	賞の様子や発表等観察 課題の取り組み状況を観察 アンサンブルの状況を観察・聴取	12月	鑑賞 日本の音楽 英語で歌うポップス 合唱 器楽 ピアノ	賞の様子や発表等観察 外国語での発声・表現を観察・聴取 アンサンブルの状況を観察・聴取
7月	器楽 ピアノ 鑑賞 ロマン派 ボディーパーカッション・ピアノ	練習状況を観察・聴取 賞の様子や発表等観察 発表状況を観察・聴取	1月	第2学期期末考査	発表状況を観察・聴取 一年間の学習状況を確認
9月	鑑賞 世界の民族音楽 第1学期末考査 楽譜の読み方・書き方	賞の様子や発表等観察 一学期間の学習状況を確認 課題の取り組み状況を観察	2月		
	独唱 キーボードアンサンブル 鑑賞 ロマン派	発声・表現を観察・聴取 発表状況を観察・聴取 賞の様子や発表等観察	3月		

3. 評価の観点・方法及び年間の評定

A表現(歌唱)及び〔共通事項〕

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・曲の表現内容や様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性について理解している。 ・歌や歌うことと生活や社会とのかかわりについて理解している。 ・創意工夫や表現上の効果を生かした歌唱表現するために必要な技能を身につけている。	・音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに歌唱表現を創意工夫している。	・主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。

A表現(器楽)及び〔共通事項〕

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・曲の表現内容や様々な表現形態による器楽表現の固有性や多様性について理解している。 ・曲や演奏することと生活や社会とのかかわりについて理解している。 ・創意工夫や表現上の効果を生かした器楽表現するために必要な技能を身につけている。	・音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに器楽表現を創意工夫している。	・主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。

A表現(創作)及び〔共通事項〕

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・様々な音楽材や様式、表現形態などの特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 ・創意工夫や表現上の効果を生かした創作表現するために必要な技能を身につけている。	・音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに創作表現を創意工夫している。	・主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。

B鑑賞及び〔共通事項〕

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・音楽の美しさと音楽の構造との関わりについて理解している。 ・芸術としての音楽と文化的・歴史的背景、他の芸術や文化との関わりについて理解している。 ・音楽と人間の感情との関わり及び社会における音楽に関わる人々の役割について理解している。	・音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。 ・音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、文化や芸術としての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。 ・音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。	・主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。

評価は、学習の取り組み状況(観察・聴取)、授業態度、実技における課題進捗状況、学習課題の記入状況、創作作品、定期考査などをもとに総合的に判断して決定します。また、成績が過去の学習経験の有無によって大きく左右されることのないよう、授業における学習到達度によって評価します。

令和7年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	美術Ⅲ(選択)				
教科	芸術科	単位数	2単位	学年・コース	高校3年・進学(文系)
使用教科書	高校生美術3 (日本文教出版)				
副教材等	ルモグラフ鉛筆12本セット、練ゴム、擦筆、クロッキー帳、サンフラワーペーパー				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

①対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を迫り、個性を生かして創造的に表すことができるようにする。
②造形的なよさや美しさ、独創的な表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性を生かして発想し構想を練ったり、自己の価値観を働かせて美術や美術部文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
③主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を磨き、美術文化を尊重し、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	オリエンテーション クロッキー・デッサン	クロッキー作品	10月	自由制作	
5月	クロッキー・デッサン	クロッキー作品	11月	自由制作	
6月	デッサン		12月	自由制作 2学期期末考査	自由制作作品 コンセプトカード 第2学期期末考査
7月	デッサン 1学期期末考査	デッサン作品 コンセプトカード 第1学期期末考査	1月		
8月			2月		
9月	自由制作		3月		

3. 学習評価について(観点・評価場面設定・年度末評定)

評価は、次の観点から行います ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度
なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします ① 知識・技能 [期末考査筆記の点数、授業課題の構成力や技法の知識をもとに評価する。] ② 思考・判断・表現 [期末考査実技の点数、授業課題の意図や表現をもとに評価する。] ③ 主体的に学習に取り組む態度 [授業態度や、追加課題、コンセプトカードをもとに評価する。]
年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します

令和7年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	書道Ⅲ(選択)				
教科	芸術科	単位数	2単位	学年・コース	高校3年・進学(文系)
使用教科書	書道Ⅲ(教育図書)				
副教材等	新版 応用ペン習字(教育図書株式会社)				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ① 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身につけるようにする。(「知識及び技能」の習得)
- ② 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わいとらえたりすることができるようにする。(「思考力、判断力、表現力等」の育成)
- ③ 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書をととして心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。(「学びに向かう力、人間性等」の涵養)

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	書を知る 書くきっかけはそこかしこに 臨書と模書はどう違うのですか 表現を知る 思いを形にするために 小臣餘饒尊・散氏盤 郭店楚簡・長沙子弹庫楚帛書 礼器碑・西狭頌・張遷碑 自分らしさ・あの人らしさ 喪乱帖・魏靈藏造像記	プリント 臨書作品 応用ペン習字 プリント 臨書作品 プリント 臨書作品 応用ペン習字	10月	金石学と書 明清に花開いた個性 方寸の世界に遊ぶ 言葉と書の響き合い 士大夫の文雅な世界	プリント 臨書作品 応用ペン習字
5月	皇甫誕碑・多宝塔碑 光明皇后臨樂毅論 頭弁帖 古今和歌集の古筆 曼殊院本古今和歌集	プリント 臨書作品 応用ペン習字	11月	書を知る 書論が教えてくれるもの 鑑賞を知る 今何を感じますか 鑑賞ナビ 線・字形・構成・リズム 間・墨	プリント 臨書作品 応用ペン習字 プリント 臨書作品 応用ペン習字
6月	継色紙・関戸本古今和歌集 龜山切 料紙装飾と書の調和	プリント 臨書作品 応用ペン習字	12月	芸術へのいざない 書に学んだきみたちへ	応用ペン習字 プリント 臨書作品 第2学期期末考査
7月		第1学期期末考査	1月		
8月			2月		
9月	万葉集の古筆 金沢本万葉集 私家集の古筆 一条摂政集・中務集 多様性の先に広がる可能性 士大夫の文雅な世界	プリント 臨書作品 応用ペン習字	3月		

3. 学習評価について(観点・評価場面設定・年度末評定)

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします

- ① 知識・技能 [学習活動への取り組み・提出物の内容・考査試験]
- ② 思考・判断・表現 [提出物の状況(臨書作品・創作作品・プリント等)]
- ③ 主体的に学習に取り組む態度 [定期考査・提出物の内容]

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します